

令和3年度
事業計画及び予算

社会福祉法人
神奈川県総合リハビリテーション事業団

目 次

I 事 業 計 画

はじめに	5
1 重 点 方 針	6
2 事 業 計 画	7
(1) 病 院 機能 の 充 実	7
(2) 福 祉 機能 の 充 実	9
(3) 地 域 へ の リハビリテーション 支 援 事 業	15
(4) 看 護 学 校 事 業	15
施設別利用計画	17

II 予 算

1 予 算 総 括 表	21
2 人 件 費 内 訳	21
3 資 金 収 支 予 算 書	22
4 資 金 収 支 予 算 内 訳 書	24
5 人 件 費 明 紹 書	32

I 事業計画

はじめに

わが国では、少子高齢化の進行、働き方や家族・地域社会のあり方の変容などの生活を巡る状況は大きく変化しています。こうした状況の変化に伴って数々の社会保障制度の改革が実施されてきました。令和2年に入り全世界で新型コロナウイルス感染症が広がり、人々の健康を守るために医療体制の整備やワクチンの研究開発などが懸命に進められています。

神奈川県は、そのような状況下で國の方針を踏まえて、今回の新型コロナウイルス感染症の感染拡大への対応として、県民に外出の自粛を強く要請するとともに、多くの人が利用する施設の使用を制限しました。また、医療崩壊を防ぐことを目的として患者の症状の程度に応じた医療を提供する「神奈川モデル」と呼ばれる独自の医療提供体制を構築しました。

事業団は、令和3年度事業の実施にあたって、感染症の収束がいまだ見通せない状況のなかで、患者・利用者をはじめ、職員の感染防止対策に取り組む一方、感染状況の変化を見極めつつ、県民から求められるサービスを提供します。平成28年3月に策定された「第二期リハセンター指定管理期間 事業団経営計画」の中間点に位置することもあり、リハセンターの役割を踏まえ将来に向かって安定的な事業継続が図れるよう、着実に推進します。

1 重点方針

(1) 高度専門性の発揮 ~県民サービスの向上~

医師をはじめとする経験豊富で専門性の高い人材を活用し、民間の病院や福祉施設では対応が難しい重度・重複障害者への医療・福祉サービスの提供を行います。

また、病院内に設置した「かながわリハビリロボットクリニック」を活用し、リハビリ医療へのロボット技術の導入に取り組む他、県立施設の役割として県の施策に幅広く協力していきます。そのため、リハセンターがこれまで培ったノウハウを継承し医療・福祉サービスを継続して提供していくよう、優秀な人材の確保を進めるとともに、職員の資質の向上に取り組みます。

(2) 収益の確保、効率化

感染症の収束がいまだ見通せない状況のなかで、患者・利用者をはじめ、職員の感染防止対策に取り組む一方、感染状況の変化を見極めつつ、県民から求められるサービスを提供します。また、利用率の向上や診療報酬対策の強化を実施し、自己収入の増を図るとともに、事業費の効率的な執行により支出を減少させ安定的に事業を進めていきます。

(3) 安全管理対策の強化

平成23年に発生した東日本大震災から10年が経過する中、大規模災害の教訓を風化させないよう、リハセンターの安全管理体制を確立・徹底し、安全な施設運営を行っていきたいと考えています。

(4) コンプライアンスの徹底

700人以上の職員が在籍するリハセンターを運営するにあたって、関係各法令に適切に対応し、利用者サービスを低下させることなく、効率的・効果的な経営を行っていきます。

2 事業計画

(1) 病院機能の充実

神奈川リハビリテーション病院（284床）

電子カルテシステムを導入後1年が経過し、システムの安定的な運用体制が形成されてきました。また、令和2年12月には手術ロボット支援システムを導入し、股関節や膝関節の難しい手術においてより安全で正確な手術の実施が可能となりました。

今後も変形性股関節症等の骨関節疾患、脊髄損傷、脳外傷等の後天性脳損傷（高次脳機能障害）、脳血管障害、神經難病、小児神經疾患を中心に早期社会復帰に向けたリハビリテーション医療を行います。

⑦ リハビリテーション機能の充実

・ 退院後の家庭復帰等の実績と目標

令和3年度目標	令和元年度実績（参考）
81.0%	88.2%

※ 診療報酬上の施設基準（回復期リハ病棟Ⅰ）を満たす70%の在宅復帰率を維持すると共に、障害者等の社会復帰を担う病院として80%を超える高い復帰率を達成していく。

・ (参考) 重度障害者の受入実績

区分	令和元年度実績
脊髄障害者 (うち四肢麻痺者)	97人 (61人)
高次脳機能障害者	243人
神經難病患者	36人
小児神經疾患患者	127人

・ 年間手術件数の実績と目標

令和3年度目標	令和元年度実績（参考）
400件	358件

・ 重度障害者への就労支援による復職者数の実績と目標

令和3年度目標	令和元年度実績（参考）
65人	65人

・ 認定理学療法士、認定作業療法士の割合実績と目標

令和3年度目標	令和元年度実績（参考）
15%	14%

※ 認定療法士は多くが50歳以上であり、若年層の割合が減少している。今後、若手の療法士の認定資格取得を推進し割合を維持していきたい。

(イ) 地域との連携強化

脊髄損傷、脳外傷及び神経難病など地域での対応が困難な重度の障害を持つ退院患者に対して、関係機関と連携を強化し地域生活への移行を図ります。また、令和2年4月に新たに設置した地域連携室を中心に地域での退院患者の状況を把握することにより退院後、低下した機能を回復するための再入院を促すなど地域を含めた包括的な医療体制を構築できるよう取組を進めています。

- 紹介・逆紹介件数の実績と目標

区分	令和3年度目標	令和元年度実績（参考）
紹介	1,200 件	1,194 件
逆紹介	1,500 件	1,583 件

(ウ) 患者の視点に立った病院経営

患者・家族が診療内容をよく理解し、納得して医療を受けられるよう十分な説明と同意による医療を行います。患者にとってわかりやすい医療の提供を行い、また、満足度調査の実施により結果を可視化するなど、よりよい利用者サービスが提供できるよう努めます。

- 満足度評価点の実績と目標

	令和3年度目標	令和元年度実績（参考）
入院	3.4/4点以上	3.6/4点
外来		3.5/4点

(イ) 効率的・効果的な業務運営と経営改善

地域連携室による取り組みを強化し、転院相談から入院承認までの迅速化を図ります。新型コロナウイルス感染症への対策としてオンライン面会システムを用いた面談や情報交換を行うことでよりスムーズな転院を実現します。また、連携先病院訪問やソーシャルワーカーを招いた病院見学会、公開講座などについても感染症対策を徹底した上で行い、紹介患者を増やす取り組みを行っていきます。

電子カルテシステムの導入により業務の効率化をはかり、算定漏れ防止等の経営改善を図ります。

他院に先駆けて導入した手術ロボット支援システムをアピールしていくことで手術数の増加や既存患者の確保だけでなく新規患者の確保、医師確保につなげ効果的な業務運営を行います。

また、引き続き経費削減に向け医薬品や診療材料の廉価購入を促進します。

- 収益の確保に向けた実績と目標

区分	令和3年度目標	令和元年度実績（参考）
利用率	90.0%	83.6%
平均在院日数（一般病棟）	60.0日以下	53.7日
一日当たり入院者数	252人	234.2人
一日当たり外来者数	300人	226.9人

- ・ 費用の削減に向けた実績と目標

区分	令和3年度目標	令和元年度実績（参考）
後発医薬品の採用率	50.0%	50.8%

(オ) 調査、研究・開発事業

リハビリテーションに関する調査、研究・開発については、医療と福祉を一体的に運営しているという特徴を生かし、医学的・工学的・社会福祉学的領域において調査、研究・開発を行い、医療・福祉の向上に向け取り組んでいきます。

また、神奈川県の「さがみロボット産業特区」における生活支援ロボットの実証実験の場として位置付けられていることから、リハビリロボットの実用化に向けて、産学公の連携による実証実験を行い、専門的な立場、臨床的な立場から評価・助言を行っていきます。

さらに平成29年度より開設した「かながわリハビリロボットクリニック」を中心に、筋電義手をはじめリハビリテーションロボットに関する専門的な相談に対応するなど、障害者のADLやQOLの向上を図っていきます。

(令和3年度 主な学会発表演題)

- ・ かながわリハビリロボットクリニックにおける筋電義手の処方・訓練の経過報告～成人期の先天性欠損者と後天性切断者の違いについて～
- ・ 脊髄損傷運動完全麻痺症例における外骨格型ロボットを用いた歩行練習の随意的運動機能への効果
- ・ 脊柱側湾症を有する脊髄損傷症例に対する車いすの適合事例

(2) 福祉機能の充実

ア 七沢学園（福祉型障害児入所施設・30人）

（障害者支援施設・生活介護19人、生活訓練17人、施設入所支援30人）

福祉型障害児入所施設として知的障害や発達障害のある児童を対象に、疾病や不適応行為等についての医学的治療及び行動改善のための教育と評価等の支援を行います。

障害者支援施設として18歳以上の知的障害者を対象に、医学的課題を持つ医療重度者、強度行動障害者、社会生活能力の向上を必要とする方に対して、医学的・社会リハビリテーションを総合的に提供し、社会復帰（家庭生活や日中活動）を支援するため、「施設入所支援」と「生活介護」及び「自立訓練（生活訓練）」等を行います。また、短期入所等の地域福祉事業を実施し、在宅障害児者の地域生活に必要な支援を行います。

(ア) 施設機能の充実

【福祉型障害児入所施設】

- ・ 退所後の家庭復帰・就学の実績と目標

令和3年度目標	令和元年度実績（参考）
81.0%※	60.0%

- ・ (参考) 退所率 (定員に対する退所者数割合)
令和元年度実績 60.0% (退所者 12人/定員 30人)
※ 福祉型障害児施設の家庭等復帰率 23.6%
(平成29年度 厚生労働省社会福祉施設等調査)
※ 七沢学園は設立当初より通過型の施設として、教育、訓練、環境調整等の支援により家庭等地域での生活を目指している。

- ・ 強度行動障害児の受入実績と目標 (一日当たり平均)

令和3年度目標	令和元年度実績 (参考)
2.0人	1.0人

※ 強度行動障害児 (者) とは、直接的他害 (噛みつき、頭突きなど) や、間接的他害 (睡眠の乱れ、こだわり、多動、器物損壊など) や自傷行為などが、通常考えられない頻度と形式で出現し、その養育環境では著しく処遇の困難なものをいう。七沢学園 (児童) では、専用のハードを持った個室で強度行動障害の受入を行うとともに、強度行動障害児の支援を行い障害の軽減化を図り、相談及び助言、予防的支援に関する取り組み、事業に関する啓発・普及、研修及び研究を行っている。

- ・ 集中療育の受入実績と目標 (年間実入所者数)

令和3年度目標	令和元年度実績 (参考)
8.5人	7.5人

※ 集中療育とは、発達障害や行動障害の児童を対象に行動改善のための評価や、利用目的を絞り込み短期間 (1ヶ月～6ヶ月) 入所施設を利用する事業のことである。

【障害者支援施設】

- ・ 退所後の家庭復帰 (グループホーム含む) の実績と目標

令和3年度目標	令和元年度実績 (参考)
61.0%※	76.9%

- ・ (参考) 退所率 (定員に対する退所者数割合)

令和元年度実績 16.6% (退所者 5人/定員 30人)

※ 障害者支援施設の家庭等復帰率 10.7%

(平成29年度 厚生労働省社会福祉施設等調査)

- ・ 医療重度者の受入実績と目標 (一日当たり平均)

令和3年度目標	令和元年度実績 (参考)
3.0人	5.0人

※ 病院と併設されている施設の特徴を活かし、他施設では受け入れの難しい医療的な課題のある知的障害者を受け入れている。

- ・ 強度行動障害者の受入実績と目標 (一日当たり平均)

令和3年度目標	令和元年度実績 (参考)
6.0人	5.0人

※ 支援には専用のハードを持った個室を活用している。(強度行動障害者に準じた方へも個室を活用した支援を行なっている。)

(イ) 地域との連携強化

地域関係機関との情報交換や技術支援等、地域と一体となった福祉サービスを展開し連携を強化します。

- ・ (参考) 地域連携の実績

区分	令和元年度実績
家族一日利用（児童）	0人※
家族短期入所（児童）	0人※
短期入所（児童）	316人（延845人）
短期入所（成人）	326人（延1,105人）

※ 家族一日利用及び家族短期入所は利用者の状況をみながら、再開の準備をしている。

(ウ) 利用者の視点に立った施設運営

利用者の人権擁護や個人情報の保護に努めるとともに、利用者の満足度調査を実施しよりよい利用者サービスが提供できるよう努めます。

- ・ 満足度評価点の実績と目標

令和3年度目標	令和元年度実績(参考)
3.1/4点	3.4/4点

(エ) 効率的・効果的な業務運営と経営改善

効率的・効果的な施設運営を行い、利用率の向上を図るために、関係機関との連携強化に取り組みます。

- ・ 一日平均利用者数の実績と目標

区分	令和3年度目標	令和元年度実績（参考）
福祉型障害児入所施設（児童）	入所定員 (外 短期2名)	30人 (外 短期2人)
	一日平均利用者数	28.0人
	利用率	93.5%
障害者支援施設（成人）	入所定員 (外 短期3名)	30人 (外 短期3人)
	一日平均利用者数	27.0人
	利用率	90.0%

※ 一日平均利用者数及び利用率は、長期利用者の数である。

イ 七沢療育園（医療型障害児入所施設及び療養介護 40人）

重度の知的障害及び重度の肢体不自由が重複し、併せて医療的ケアを必要としている児童及び成人を対象に、個性を尊重し障害特性や年齢（ライフステージ）に応じた充実した生活を送ることを目的として、治療、看護、医学的管理の下における介護、日常生活上の生活支援を行います。

特に、濃厚な医療ケアを継続して必要とする超・準超重症児者を対象とする入所サービスや、在宅重症心身障害児者とその家族を支援するための中期入所

(有期限の医療型障害児入所および療養介護) 及び短期入所(ショートステイ)、並びに重症児者療育訪問指導、重症児親子教室を行います。

(7) 施設機能の充実

- 超・準超重症児者の受入実績と目標（一日当たり平均）

令和3年度目標	令和元年度実績（参考）
10.0人	13.2人

※ 短期入所者などを含めた数値である。

(イ) 地域への支援と連携強化

地域関係機関との情報交換や技術支援等、地域と一体となった福祉サービスを展開し連携を強化します。

- 中短期入所者（在宅支援）の受入実績と目標（一日当たり平均）

令和3年度目標	令和元年度実績（参考）
5.8人	2.3人

※ 令和3年度は6床で運営を行なう。

(参考) 地域連携実績

区分	令和元年度実績
中期入所	28人（延853人）
短期入所	198人（延1,154人）
重症児者療育訪問指導	5回（延5人）
重症児親子教室	0回（0人）

(ウ) 利用者の視点に立った施設運営

利用者の人権擁護や個人情報の保護に努めるとともに、利用者の満足度調査を実施し利用者サービスの向上に努めます。

- 満足度評価点の実績と目標

令和3年度目標	令和元年度実績（参考）
3.7/4点	3.9/4点

(イ) 効率的・効果的な業務運営と経営改善

効率的・効果的な施設運営を行い、利用率の向上を図るため、関係機関との連携強化に取り組みます。

- 一日平均利用者数の実績と目標

区分	令和3年度目標	令和元年度実績（参考）
入所定員	40人	40人
一日平均利用者数※	37.8人	35.9人
利用率	97.0%	92.0%

※ 一日平均利用者数は、中期・長期利用者の数である。

※ レスパイント目的の医療ケア重度者を中期入所（有期限の医療型障害児入所及び療養介護）とする県の特例的対応が令和元年12月末で終了となり、中期入所者の一部の利用者は短期入所に移行している。

※ 短期入所（空床利用）の人数は含まない。

ウ 七沢自立支援ホーム

（障害者支援施設・機能訓練60人、施設入所支援50人）

障害者支援施設として、肢体不自由者及び視覚障害者を対象に、各種専門的な評価・訓練や、社会生活力を高めるための支援プログラムを提供するなど、社会復帰を支援するための「自立訓練（機能訓練）」と「施設入所支援」を行います。

病院における入院期間では地域移行が難しい脊髄損傷者や高次脳機能障害を持つ脳損傷者等の重度の障害者に対して、医学的・職業・社会リハビリテーションを総合的に提供し、社会復帰（職業や家庭生活）に向けた支援を行うとともに、視覚障害者で基礎疾患に対する日常的な医療管理を必要とする方、高次脳機能障害を併せ持つ者やロービジョン（低視覚）者等に対して、社会生活力及びQOL（生活の質）を高めるために必要な職業・社会リハビリテーションを提供し、社会復帰（職業、家庭生活や盲学校等への進学）に向けた支援を行います。

また、短期入所や受託評価事業を実施し、在宅障害者の地域生活に必要な支援及び補装具の製作、修理を行います。

（7）施設機能の充実

- 退所後の家庭復帰・就学・就労の実績と目標

令和3年度目標	令和元年度実績（参考）
91.0%	91.1%

※ 障害者支援施設の家庭等復帰率 26.5%（平成29度 厚生労働省社会福祉施設等調査）

- （参考）退所者の平均在所期間

区分	令和元年度実績
肢体不自由者	11.2ヶ月
視覚障害者	7.3ヶ月

- （参考）退所率（定員に対する退所者数割合）

令和元年度実績 95%（退所者 38人/定員 40人）

※ 七沢自立支援ホームでは、設立当初より通過型の施設として、訓練、環境調整等の支援により家庭等地域での生活を目指している。

- （参考）単身者の地域移行の実績 令和元年度 9人

※ 家族介護者がなく、療養中に住居を失っている例も多い。また、頸髄損傷等の重度の障害であっても単身による自立した生活を望む方への支援も行っている。

- ・ (参考) 退所者の障害別内訳

区分	令和元年度実績
脊髄損傷者 (うち四肢麻痺者)	11人 (4人)
脳外傷者	2人
脳血管障害者	18人
その他神経疾患等※	6人
視覚障害者	11人

※ その他神経疾患とは、筋ジストロフィー等の神経難病、疾病による四肢麻痺、二分脊椎、脳性麻痺等である。

※ 退所者のうち1級、2級の障害等級の重度の障害者の占める比率は、肢体不自由部門・視覚障害部門とも100%であった。

(イ) 地域との連携強化

地域関係機関との情報交換や技術支援等、地域と一体となった福祉サービスを展開し連携を強化します。

- ・ (参考) 地域支援の実績

区分	令和元年度実績
短期入所	54人(延312人)
受託評価件数※	18件(延85人)

※ 受託評価事業とは、主に特別支援学校の生徒を対象に日常生活動作の評価及び職業能力の評価を行う事業である。

- ・ (参考) 視覚障害者の訪問訓練実績 令和元年度 9人

(ウ) 利用者の視点に立った施設運営

利用者の人権擁護や個人情報の保護に努めるとともに、利用者の満足度調査を実施しよりよい利用者サービスが提供できるよう努めます。

- ・ 満足度評価点の実績と目標

令和3年度目標	令和元年度実績(参考)
3.0/4点	3.7/4点

(イ) 効率的・効果的な業務運営と経営改善

効率的・効果的な施設運営を行い、利用率の向上を図るため、関係機関との連携強化に取り組みます。

- ・ 一日平均利用者数の実績と目標

区分	令和3年度目標	令和元年度実績(参考)
入所定員	50人 (外 短期2人)	50人 (外 短期2人)
一日平均利用者数※	47.0人	42.4人
利用率※	94.1%	84.9%

※ 一日平均利用者数及び利用率は、長期利用者の数である。

(3) 地域へのリハビリテーション支援事業

県から指定を受けている「神奈川県リハビリテーション支援センター」として、地域リハビリテーション支援を行うとともに、「高次脳機能障害支援普及事業」の支援拠点機関として、地域の相談体制の整備や研修に取り組みます。

全県的な立場からの地域支援事業として、関係機関等との連携強化、地域支援ネットワークの充実、専門相談、地域人材の育成研修、リハビリテーションの情報収集・提供等を実施します。

(参考) 令和元年度実績

- リハビリテーション専門相談

依頼件数 300 件（述べ件数）

（主な相談依頼元 障害者相談支援事業所 居宅介護支援事業所 障害者施設 市町村等）

- リハビリテーション研修事業

区分	令和元年度実績
研修項目数	20 項目
開催日数	延 26 日開催
受講者延数	776 人
評価 /4 点	3.88 点

主な研修内容

- 摂食・嚥下障害のリハビリテーション
- 褥瘡予防セミナー
- 住宅改造・改修セミナー
- 視力障害のある方への支援への対応、等

(参考) 高次脳機能障害支援普及事業（令和元年度）

- 相談依頼（個別支援）件数 256 件（述べ件数）

（主な相談依頼元 本人・家族、医療機関、地域相談窓口等）

- 高次脳機能障害セミナー（小児編等、4 セミナー）

セミナー受講延数 306 人 評価 3.8 点 /4 点

(4) 看護学校事業

（学生定数：看護学科 240 人）

事業団の看護専門学校として、「人間らしく共に生きるために」という社会福祉の理念に基づき、ヒューマニズムの精神を建学の理念とし、身体的・精神的・社会的にいろいろな角度から健康生活への援助ができる看護師の養成を行います。

- 看護師国家試験合格率の目標

区分	令和 3 年度目標	令和元年度実績（参考）
看護学科	100.0%	94.3%

- ・ 県内就職率の目標

区分	令和 3 年度目標	令和元年度実績（参考）
看護学科	100.0%	100.0%

- ・ 神奈川リハ病院への就職の目標

区分	令和 3 年度目標	令和元年度実績（参考）
看護学科	20 人	24 人

看護第二学科は令和 3 年度から廃止となり、看護第一学科は単一学科となるため、「看護学科」へ名称変更します。

施 設 別 利 用 計 画

1 社会福祉施設関係

(1)入所等

ア 施設入所

施 設 名	入 所 定 員	利 用 計 画		
		1 日 当 り	利 用 率	延 入 所 者
七 沢 学 園 (児 童)	30人	29.4人	98.0%	10,731人
七 沢 学 園 (成 人)	30人	27.9人	93.1%	10,194人
七 沢 療 育 園	39人	37.8人	97.0%	13,808人
七 沢 自 立 支 援 ホ ー ム	50人	47.0人	94.1%	17,173人
合 計	149人	142.2人	95.4%	51,906人

イ 日中訓練

施 設 名	事 業 名	利 用 定 員	利 用 計 画		
			1 日 当 り	利 用 率	延 入 所 者
七 沢 学 園 (成 人)	生 活 介 護	19人	17.1人	90.0%	4,172人
	生 活 訓 練	17人	15.3人	90.0%	3,733人
	小 計	36人	32.4人	90.0%	7,905人
七 沢 自 立 支 援 ホ ー ム	機能訓練(通所・訪問)	10人	9.0人	90.0%	2,195人
	機 能 訓 練 (入 所)	50人	45.0人	90.0%	10,980人
	小 計	60人	54.0人	90.0%	13,175人
合 計		96人	86.4人	90.0%	21,080人

(2)短期入所等

事 業 名	施 設 名	訓 練 回 数・人 員	延 人 員
短 期 入 所	七 沢 学 園 (児 童)	—	720人
	七 沢 学 園 (成 人)	—	1,380人
	七 沢 療 育 園	—	700人
	七 沢 自 立 支 援 ホ ー ム	—	1,297人
	小 計	—	4,097人
重 症 児 親 子 教 室	七 沢 療 育 園	3回	18人
受 託 評 価	七 沢 自 立 支 援 ホ ー ム	15回	75人
合 計		—	4,386人

2 病院関係

神奈川リハ病院	区 分	入 院	外 来
	病 床 数	284床	—
	1 日 当 り 患 者 数	252.0人	300.0人
	年 間 延 患 者 数	91,980人	73,200人
	利 用 率	90.0%	—

3 厚木看護専門学校

区 分	学 生 数
看 護 学 科 [240 人]	251人

[]書きは、定員である。

予 算

II 予 算

1 予算総括表

収支区分		3年度予算額	前年度予算額	比較増減	説明
財源内訳	事業 収入 (1)	千円 7,744,698	千円 7,766,780	千円 △ 22,082	法人運営事業、指定管理者としてのリハセンターの運営に基づく事業、地域リハビリテーション支援事業、看護学校事業
	利用料金収入等	(千円 64.3%) 4,982,194	(千円 63.0%) 4,890,595	(千円 1.3%) 91,599	
	利用料金収入	4,500,620	4,232,132	268,488	
	積立資産取崩収入	481,574	658,463	△ 176,889	
	指定管理料及び補助金	(千円 35.7%) 2,762,504	(千円 37.0%) 2,876,185	(千円 1.3%) △ 113,681	
	指定管理料	2,585,476	2,580,904	4,572	
	学校運営費補助金	172,590	212,148	△ 39,558	
	新型コロナウイルス感染症対策補助金他	4,438	83,133	△ 78,695	
	事業支出 (2)	7,602,352	7,552,680	49,672	
収支差額 (3) = (1) - (2)		142,346	214,100	△ 71,754	
積立資産支出 (4)		142,346	214,100	△ 71,754	
当期資金収支差額 (3) - (4)		0	0	0	

(注) 前年度予算額は補正後予算額である。

(注) (%)書きは、事業収入に占める割合を示す。

2 人件費内訳

科 目	3 年 度 予 算 額	前 年 度 予 算 額	比 較 増 減
給 料 等	(千円 60.3%) 4,672,939	(千円 58.2%) 4,520,416	(千円 2.1%) 152,523
退職給付支出	(千円 4.2%) 327,748	(千円 7.1%) 548,331	(千円 2.9%) △ 220,583
計 (1)	(千円 64.5%) 5,000,687	(千円 65.3%) 5,068,747	(千円 0.8%) △ 68,060
退職給付引当支出し (2)	142,346	208,821	△ 66,475
合 計 (1)+(2)	5,143,033	5,277,568	△ 134,535

(注) (%)書きは、事業収入に占める割合を示す。

3 資金収支予算書

(自 令和3年4月1日 至 令和4年3月31日)

科 目		3年度予算額	前年度予算額	比較増減	説 明
収	児童福祉事業収入	0	1,080	△ 1,080	
	措置費収入	0	1,080	△ 1,080	
	保育事業収入	63,800	45,941	17,859	
	その他の事業収入	63,800	45,941	17,859	指定管理料収入(49,004千円)及びこども園使用料収入等
	障害者福祉サービス等事業収入	1,183,219	1,132,037	51,182	
	自立支援給付費収入	409,204	375,691	33,513	
	障害児施設給付費収入	10,021	15,304	△ 5,283	障害児施設給付費の代理受領分
	利用者負担金収入	10,068	7,843	2,225	利用者本人(障害児においては、その保護者)の負担による収入
	補足給付費収入	16,959	15,695	1,264	特定障害者特別給付費及び特定障害児食費等給付費の代理受領分
	特定費用収入	52,038	48,559	3,479	補装具製作修理収入等
事 業 活 動 に よ る 収 支	その他の事業収入	684,929	668,945	15,984	指定管理料収入
	医療事業収入	5,182,184	4,850,661	311,523	
	入院診療収入	3,286,724	3,051,546	215,178	七沢療育園、神奈川リハビリテーション病院の入院収入
	室料差額収入	40,314	43,477	△ 3,163	神奈川リハビリテーション病院の室料差額収入
	外来診療収入	516,940	480,845	36,095	神奈川リハビリテーション病院の外来収入
	その他の医療事業収入	1,338,206	1,274,793	63,413	指定管理料収入(1,297,246千円)及び厚木精華園等診療受託事業等
	管理事業収入	581,037	716,636	△ 155,599	
	運営費収入	6,740	9,324	△ 2,584	職員宿舎使用料収入
	その他の事業収入	554,297	707,312	△ 153,015	指定管理料収入
	学校運営事業収入	254,058	305,349	△ 51,291	
支 出	学校運営使用料収入	68,448	76,176	△ 7,728	授業料収入
	学校運営手数料収入	13,020	14,821	△ 1,801	入学検定料収入等
	その他の事業収入	172,590	214,352	△ 41,762	学校運営に対する補助金
	その他の事業収入	2,801	7,574	△ 4,773	
	受託料収入	2,801	7,574	△ 4,773	共済事務受託収入等
	経常経費寄附金収入	0	1,420	△ 1,420	
	受取利息配当金収入	4,695	3,464	1,231	預金利息及び貸付利息収入
	その他の収入	18,031	19,780	△ 1,749	
	受入研修費収入	4,386	3,065	1,321	実習受入謝礼
	雑収入	13,821	16,689	△ 3,068	施設使用料等
支 出	補助金事業収入	24	26	△ 2	結核健康診断補助金
	事業活動収入計(1)	7,249,825	7,083,942	165,883	
	人件費支出	5,000,687	5,068,747	△ 68,060	
	役員報酬支出	13,192	13,201	△ 9	常勤役員の役員報酬
	職員給料支出	3,250,809	3,021,460	229,349	常勤職員の給料・手当
	職員賞与支出	694,722	657,678	37,044	常勤職員の賞与
	非常勤職員給与支出	66,332	219,096	△ 152,764	非常勤職員の報酬・手当等
	派遣職員費支出	39,880	27,614	12,266	派遣会社への支払額
	退職給付支出	327,748	548,331	△ 220,583	定年退職予定者17名に伴う退職給付
	法定福利費支出	608,004	581,367	26,637	常勤役員、常勤職員及び非常勤職員に関する法定福利費
支 出	事業費支出	1,171,329	1,126,400	44,929	
	給食費支出	150,011	130,044	19,967	
	医薬品費支出	308,835	333,316	△ 24,481	社会福祉事業に関する事業費支出 200,964千円
	診療・療養等材料費支出	317,849	289,754	28,095	事務局 4,487千円、七沢学園(児童) 33,978千円、七沢学園(成人) 29,195千円、七沢療育園 74,610千円、七沢自立支援ホーム 58,694千円
	保健衛生費支出	3,305	5,540	△ 2,235	
	被服費支出	1,089	882	207	
	教養娯楽費支出	2,439	1,331	1,108	
	日用品費支出	12,824	15,312	△ 2,688	公益事業に関する事業費支出 970,365千円
	保育材料費支出	482	355	127	神奈川リハビリテーション病院 941,954千円、地域リハビリテーション支援センター 2,933千円、厚木看護専門学校 25,478千円
	水道光熱費支出	274,780	269,668	5,112	
支 出	消耗器具備品費支出	22,735	24,610	△ 1,875	
	保険料支出	7,288	7,239	49	
	賃借料支出	37,511	31,353	6,158	
	教育指導費支出	7,978	7,834	144	
	車輌費支出	1,001	1,062	△ 61	
	報償費支出	14,392	6,666	7,726	
	受託研究費支出	8,507	1,006	7,501	
	雑支出	503	428	75	

科 目		3年度予算額	前年度予算額	比較増減	説 明
事業活動による収支	事務費支出	千円 1,211,261	千円 1,139,122	千円 72,139	
	福利厚生費支出	24,285	16,813	7,472	
	職員被服費支出	3,310	3,033	277	社会福祉事業に関する事務費支出 533,598千円
	旅費交通費支出	6,815	2,319	4,496	事務局 291,073千円、七沢学園(児童) 57,360千円、七沢学園(成人) 51,677千円、七沢療育園 50,476千円、七沢自立支援ホーム 83,012
	研修研究費支出	22,242	11,024	11,218	
	事務消耗品費支出	23,762	24,182	△ 420	
	印刷製本費支出	3,720	2,842	878	公益事業に関する事務費支出 677,663千円
	水道光熱費支出	4,092	4,042	50	神奈川リハビリテーション病院 648,532千円、地域リハビリテーション支援センター 6,050千円、厚木看護専門学校 23,081千円
	燃料費支出	12	12	0	
	修繕費支出	49,949	60,565	△ 10,616	
	通信運搬費支出	8,364	10,472	△ 2,108	
	会議費支出	218	32	186	
	広報費支出	5,177	5,668	△ 491	
	業務委託費支出	597,508	571,363	26,145	
	手数料支出	8,713	7,463	2,250	
	保険料支出	1,338	1,499	△ 161	
	賃借料支出	51,882	47,198	4,684	
	租税公課支出	143,062	141,621	1,441	
	保守料支出	250,749	223,293	27,456	
	涉外費支出	597	92	505	
	諸会費支出	2,416	2,406	10	
	食糧費支出	294	265	29	
	報償費支出	615	505	110	
	雑支出	1,141	2,413	△ 1,272	
	支払利息支出	792	1,411	△ 619	支払リース料のうち利息相当額
	流動資産評価損等による資金減少額	0	2,703	△ 2,703	
	徴収不能額	0	2,703	△ 2,703	
事業活動支出計(2)		7,384,069	7,338,383	45,686	
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)		△ 134,244	△ 254,441	120,197	
施設整備等による収支	施設整備等補助金収入	4,438	6,389	△ 1,951	国及び県からの補助金
	施設整備等収入計(4)	4,438	6,389	△ 1,951	
	固定資産取得支出	9,299	17,054	△ 7,755	医療機器等の整備に要する経費
	器具及び備品取得支出	9,299	16,952	△ 7,653	
	ソフトウェア取得支出	0	102	△ 102	
	ファイナンス・リース債務の返済支出	38,384	41,243	△ 2,859	ファイナンス・リース取引に係る支払リース料のうち元本相当額
施設整備等支出計(5)		47,683	58,297	△ 10,614	
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)		△ 43,245	△ 51,908	8,663	
その他の活動による収支	長期貸付金回収収入	8,861	17,986	△ 9,125	学資金及び職員貸付金の回収収入
	学資金貸付収入	3,726	13,380	△ 9,654	
	一般貸付償還金収入	3,408	3,497	△ 89	
	特別貸付償還金収入	1,609	1,109	500	
	災害貸付償還金収入	118	0	118	
	積立資産取崩収入	481,574	658,463	△ 176,889	
	退職給付引当資産取崩収入	327,748	548,331	△ 220,583	定年退職者の退職給付引当金取崩額
	経営安定化調整資金積立資産取崩収入	132,290	110,132	22,158	事業運営を安定的に行う費用や宿舎運営費及び予備費に要する取崩額
	職員共済事業等積立資産取崩収入	21,536	0	21,536	福利厚生事業及び専門性の維持向上の支援のための職員研修費に要する取崩額
	その他の活動収入計(7)	490,435	676,449	△ 186,014	
	長期貸付金支出	70,600	56,000	14,600	事業団学資金貸付規程及び職員貸付規則に基づく貸付金
	長期貸付金支出	70,600	56,000	14,600	
支 出	積立資産支出	142,346	214,100	△ 71,754	
	退職給付引当資産支出	142,346	208,821	△ 66,475	退職給付引当資産への積立による支出
	経営安定化調整資金積立資産支出	0	3,393	△ 3,393	
	職員共済事業等積立資産支出	0	1,886	△ 1,886	
	その他の活動支出計(8)	212,946	270,100	△ 57,154	
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)		277,489	406,349	△ 128,860	
予備費支出(10)		100,000	100,000	0	
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)		0	0	0	
前期末支払資金残高(12)		499,494	499,494	0	
当期末支払資金残高(11)+(12)		499,494	499,494	0	

4 資金収支予算内訳書

〔神奈川リハ病院・地域リハビリテーション支援センター〕

科 目		公 益 事 業					
		神 奈 川 リ ハ 病 院			地 域 リ ハ ピ リ テ ー シ ョ ン 支 援 セ ン タ ー		
		3 年 度	前 年 度	比較増減	3 年 度	前 年 度	比較増減
事業活動による収支	児童福祉事業収入	0	0	0	0	0	0
	措置費収入	0	0	0	0	0	0
	保育事業収入	0	0	0	0	0	0
	その他の事業収入	0	0	0	0	0	0
	障害者福祉サービス等事業収入	0	0	0	0	0	0
	自立支援給付費収入	0	0	0	0	0	0
	障害児施設給付費収入	0	0	0	0	0	0
	利用者負担金収入	0	0	0	0	0	0
	補足給付費収入	0	0	0	0	0	0
	特定費用収入	0	0	0	0	0	0
	その他の事業収入	0	0	0	0	0	0
	医療事業収入	4,793,113	4,486,559	306,554	63,800	70,398	△ 6,798
	入院診療収入	2,961,253	2,757,842	203,411	0	0	0
	室料差額収入	40,314	43,477	△ 3,163	0	0	0
	外来診療収入	516,940	480,845	36,095	0	0	0
	その他の医療事業収入	1,274,606	1,204,395	70,211	63,600	70,398	△ 6,798
	管理事業収入	0	0	0	0	0	0
	運営費収入	0	0	0	0	0	0
	その他の事業収入	0	0	0	0	0	0
	学校運営事業収入	0	0	0	0	0	0
	学校運営使用料収入	0	0	0	0	0	0
	学校運営手数料収入	0	0	0	0	0	0
	その他の事業収入	0	0	0	0	0	0
	その他の事業収入	1,700	6,467	△ 4,767	0	0	0
	受託料収入	1,700	6,467	△ 4,767	0	0	0
	経常経費寄附金収入	0	1,100	△ 1,100	0	0	0
	受取利息配当金収入	0	0	0	0	0	0
	その他の収入	8,566	10,227	△ 1,661	2,215	180	2,035
	受入研修費収入	1,255	2,195	△ 940	2,204	167	2,037
	雑収入	7,311	8,032	△ 721	11	13	△ 2
	補助金事業収入	0	0	0	0	0	0
	事業活動収入計(1)	4,803,379	4,504,353	299,026	65,815	70,578	△ 4,763
支出	人件費支出	3,211,539	3,107,866	103,673	56,832	56,984	△ 152
	役員報酬支出	0	0	0	0	0	0
	職員給料支出	2,232,480	2,065,752	166,728	39,950	37,077	2,873
	職員賞与支出	477,364	446,887	30,477	6,486	6,821	△ 335
	非常勤職員給与支出	47,922	178,140	△ 130,218	3,081	5,699	△ 2,618
	派遣職員費支出	39,880	27,614	12,266	0	0	0
	退職給付支出	0	0	0	0	0	0
	法定福利費支出	413,893	389,473	24,420	7,315	7,387	△ 72
	事業費支出	941,954	914,269	27,685	2,933	1,595	1,338
	給食費支出	79,441	74,247	5,194	0	0	0
	医薬品費支出	298,719	323,200	△ 24,481	0	0	0
	診療・療養等材料費支出	296,633	267,459	29,174	0	0	0
	保健衛生費支出	0	0	0	0	0	0
	被服費支出	0	0	0	0	0	0
	教養娯楽費支出	0	0	0	0	0	0
	日用品費支出	0	0	0	0	0	0
	保育材料費支出	0	0	0	0	0	0
	水道光熱費支出	206,438	197,646	8,792	905	896	9
	消耗器具備品費支出	20,009	20,961	△ 952	653	610	43
	保険料支出	7,148	7,209	△ 61	110	1	109
	賃借料支出	24,004	21,791	2,213	0	0	0
	教育指導費支出	0	0	0	0	0	0
	車輌費支出	624	750	△ 126	7	8	△ 1
	報償費支出	431	0	431	1,258	80	1,178
	受託研究費支出	8,507	1,006	7,501	0	0	0
	雑支出	0	0	0	0	0	0

5 人件費明細書（非常勤職員及び診療受託事業等を除く）

常勤職員

区分	職員数	給与				退職給付支出	法定福利費支出	合計
		役員報酬支出	職員給料支出	職員賞与支出	計			
令和3年度	人 657	千円 13,192	千円 3,243,782	千円 693,207	千円 3,950,181	千円 470,094	千円 605,408	千円 5,025,683
前 年 度	657	13,225	3,249,060	711,143	3,973,428	539,689	608,229	5,121,346
比較 増 減	0△ 33△	5,278△ 17,936△	23,247△ 69,595△	2,821△ 95,663				
千円 千円								
職員給料支出の内訳								
	給 料	2,417,391	住 居 手 当	61,364				
	管 理 職 等 手 当	52,325	通 勤 手 当	62,513				
	初任給調整手当	104,004	特 殊 勤 務 手 当	117,030				
	扶 養 手 当	52,842	時 間 外 勤 務 手 当	194,715				
	資 格 等 手 当	12,603	宿 日 直 手 当	36,120				
	医 師 等 特 別 手 当	26,120	特 別 調 整 手 当	24,237				
	職 務 手 当	82,518						